

欧州特許庁、ブラジル産業財産庁との更なる協力に合意

2011年10月3日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は、9月28日、ブラジル産業財産庁（INPI）と産業財産権における協力を更に発展させる共同活動に関する覚書に署名を行った旨、プレスリリースを行った。

署名は、9月26日にジュネーブにおいて、EPOのバティステリ長官とINPIのアビラ長官との間で行われたもので、5年間の合意期間に、特許審査と管理手続、人材資源の発展、庁の自動化、および、特許情報等の主要な分野において協力を進めるとしている。

同プレスリリースにおいて、EPOのバティステリ長官は次のとおりコメントしている。「EPOとINPIの間の協力は、一般的な特許システムのユーザーと同様に、中南米の最も重要な市場で活動するブラジルと欧州の両方の企業にとって利益をもたらすだろう。我々の共同の努力は、イノベーションの促進を目的としたブラジルの強固な特許保護システムを支援する上で必要不可欠であり、一方、欧州にとっては、我々の緊密な協力はブラジルから生まれる技術知識へのアクセス改善を意味する。」

また、INPIのアビラ長官のコメントは次のとおり。「本合意は、産業財産権におけるEPOとINPIの既存の有意義な協力を継続し更に発展させるため我々にとっての道を切り開くものである。専門知識とツールを共有することによって、我々は、ブラジルと欧州における特許を通じたイノベーションの保護を大幅に改善・強化することができる。」

－ EPOのプレスリリースは、以下参照 －

[EPO and Brazilian IP office sign Memorandum of Understanding](#)

(以上)